

まちを耕し、ひとを育む

Ishinomaki
Kawanokami
Project

「故郷」の活用と コミュニティの創生

イシノマキ・
カワノカミ大学
#009

2015年5月30日(土)

受付 16:15
第1部 セッション 17:00~19:00
第2部 懇親会 19:10~

会場 川の上・百俵館
宮城県石巻市小船越字山畑343-1

参加費 2,500円(懇親会代・講演会費無料)
*学生の方は懇親会代も無料です。

主催 石巻・川の上プロジェクト
090-8310-8783(担当：三浦)
<http://kawanokami.com>

講師

李 仁子 LEE, In ja / Associate Professor
東北大学大学院教育学研究科准教授

イシノマキ・カワノカミ大学では、第一線で活躍されている講師をお迎えし、まちづくりの「種」になるご講演をいただきます。#009では、故郷を離れて暮らす人々の生き方をテーマに研究を行い、現在は石巻市沿岸部をフィールドに、震災によって故郷を離れざるを得なかった人々の調査研究に取り組んでいらっしゃる李仁子先生をお招きし、「故郷の活用とコミュニティの創生」と題してご講演いただきます。

東北大学大学院教育学研究科准教授。専門は文化人類学。韓国の古都・扶余(ぶよ)に生まれ、大学卒業後に日本に留学。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。博士(人間・環境学)。国立民族学博物館COE研究員を経て、2000年より現職。主に故郷を離れて暮らす人々の生き方をテーマに研究を行う。現在は石巻市沿岸部をフィールドに、震災によって故郷を離れざるを得なかった人々の調査研究に取り組んでいる。主な著書は「移住者にとっての故郷と故郷離れ」関根・新谷編著「排除する社会・受容する社会」(2007年、吉川弘文館)、『はじまりとしてのフィールドワーク』(共編著、2008年、昭和堂)、「被災地での外国人の支援活動」『日本批評』(2013年、ソウル大学日本研究所)など。



FAX 申込書

FAX: 0225-22-4554

イシノマキ・カワノカミ大学 事務局宛

お問い合わせ：090-8310-8783 (担当：三浦)

ご芳名(フリガナ)

年齢

才

ご住所(フリガナ)

〒

E-mail

☎

() -

ご出席の場合は、FAXもしくはWEB / Eメールにてお申込みください。お申込み締め切りは、5月23日(土)とさせていただきます。なお、お席には40席と限りがございます。満席になり次第締め切らせていただきますので、お申し込みはお早めをお願いいたします。

Eメールでのお申し込み

→ info@kawanokami.com

Webからのお申し込み

→ <http://kawanokami.com>

イシノマキ・カワノカミ大学の考え

わたしたちは、石巻・川の上で、豊かな暮らしと地域のモデルをつくるには、どうしたら良いのか長年考えてきました。石巻のまちは、バブル崩壊以降、衰退の一途を辿っていました。そして、2011年3月11日、東日本大震災と未曾有の津波が石巻地域を襲いました。まさに石巻の危機といえます。とはいえ、文明的な危機的状況に対して、国がおこるも、ほろびるも、まちが栄えるも、衰えるも、ことごとく「ひと」にあります。

石巻・川の上プロジェクトでは、新しい石巻・川の上、日本を生み出すべく、旧大谷地農協の米蔵跡地から「米俵百俵」の精神で、「ひとづくり」をはじめます。米俵百俵は、今は、ただの百俵ですが、後年には一萬俵になるか、百万俵になるか、はかりしれない可能性を秘めています。危機に置かれた今だからこそ、教育が必要なのです。100年先、300年先の石巻・川の上の未来に思いを馳せて、世界に誇れる豊かな暮らしと地域のモデルをつくるため、まちを耕し、ひとを育てていきます。

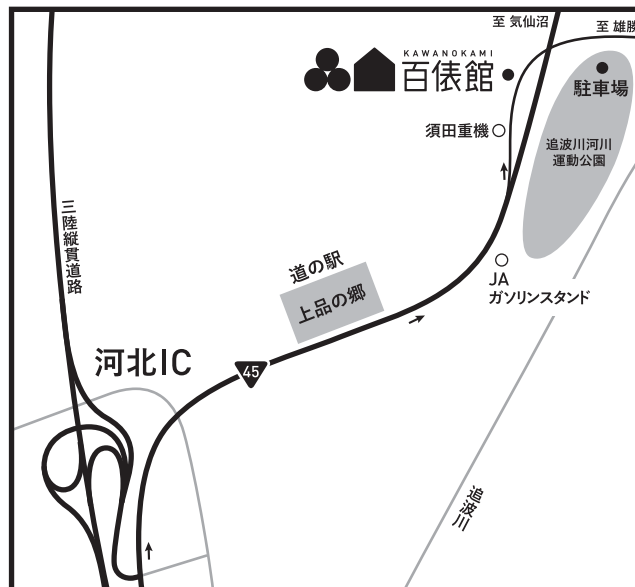
米俵百俵の精神

戊辰戦争後、長岡藩は困窮していました。そこへ支藩の三根山藩からお見舞いとして米俵百俵が届きました。これを小林虎三郎は、「食えないからこそ、学校を建てて人材を育てるのだ」という信念を貫き、皆の反対を押し切って「国漢学校」を建てました。それが長岡の復興に繋がっていきました。

懇親会でのお料理について

懇親会では、テレビ朝日「みんなの食堂～絶対に残したい!しあわせな味～」という番組で取り上げられた、石巻漁港の丸魚食堂(津波で被災)の亀山寿子さんから三陸・海の幸料理、また、石巻の酒蔵が醸造する日本酒なども振舞われる予定です。

会場へのアクセス



- ①三陸縦貫道路・河北ICを出て、国道45号線を気仙沼方面に向かいます。
- ②道の駅「上品の郷」をすぎると、右手にJAのガソリンスタンドがあります。
- ③さらに50Mくらい走り、左手に雄勝方面へ行く側道が出てくるので、国道45号線から側道に入ります。
- ④側道に入ると、須田重機さんの看板が出てくるのでそこを通り過ぎ、白い塀と門が見えます。そこが百俵館です。

なお、お車でお越しの方は、追波川河川運動公園の駐車場をご利用ください。百俵館を通り過ぎるとトンネルがあります。そこを通り抜けると、追波川河川運動公園の駐車場があります。